

科目名	英語圏文化論特講	担当者	イノ ケイヤ 猪野 恵也	期間	通年	単位数	4
-----	----------	-----	-----------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	アイルランド文学はおおざっぱにいて、アイルランド語で書かれた文学と英語で書かれた文(アングロ・アイリッシュ文学)に分かれる。この講座ではアングロ・アイリッシュ文学を扱う。近年、英語圏文学においてアイルランド文学は周辺の存在ではなくなってきた。探求してみると豊かな水脈が流れており、様々な見方が可能である。アイルランド文学史を概観し、かつ二つの作品を精読し、「英米文学」という括りを再考していきたい。		
到達目標	【一般目標 (GIO)】 アイルランド文学の基本的な概要に焦点を当て、アイルランド文学について知見を深める。 【行動目標 (SB0s)】 ・英文精読を通じて英語に対する「気づき」を深める。 ・アイルランド文学について知ることができる。		
学修方略 (方法)	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・manaba folio を利用してインターアクティブな個別指導を行う。 ・Zoom を用いてオンライン読書会を行うので履修学生は連絡をお願いします。 【学修方略 (LS) と学修時間】 (自習)教材と参考図書の精読。 (自主研究)『アイルランド小文学史』では各トピックの特徴の把握、原書講読では英語をしっかり精読する。 (レポート作成) レポートの執筆 レポート1通の完成まで45時間の学修時間を要する。(自習・自主研究・レポート作成) 学修時間: ・教材と参考図書の学修:20時間 ・レポート執筆:10時間 ・教員の添削指導及び最終稿の完成:15時間		
スケジュール	前期 ・レポート課題1 締切:6月末(初稿) 最終提出期限: 学事歴で定められた日までに提出する ・レポート課題2 締切:8月末(初稿) 最終提出期限: 学事歴で定められた日までに提出する 後期 ・レポート課題1 締切:10月末(初稿) 最終提出期限: 学事歴で定められた日までに提出する ・レポート課題2 締切:12月末(初稿) 最終提出期限: 学事歴で定められた日までに提出する		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	80%	完成したレポートがすなわち結果がすべてです。教材の理解度、課題に対して答えているかで評価する。
	観察記録	20%	レポート添削に対する応答。レポートの提出がない場合は評価しません。
履修者への要望	・通信授業(在宅学修)のレポートは初稿から最終稿まで教員のフィードバックによって書き直し及び推敲、そして最終稿と段階的に進めていきます。 ・原書精読を進める際、英文読解に困難が生じた場合教員に連絡してほしい。 ・研究室訪問を歓迎します。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： シェイマス・ディーン 教材名： (1)『アイルランド文学小史』（国文社、2011 年） ISBN:978-4-7720-0532-6 4000 円 筆者名： Maria Edgeworth 教材名： (2) <i>Castle Rackrent</i> Oxford World' s Classics ISBN:978-0-19-953755-6 766 円(税込) 『アイルランド文学小史』はアイルランド文学をコンパクトにまとめたものです。原名で人名、作品名、用語などを知る必要があるので原書を逐一参照することが望ましい。2000 年代以降のアイルランドの文学をフォローしていないが、基本をしっかり学ぶことができる。 <i>Castle Rackrent</i>(1800)には他にも版があるので入手可能な版でかまいません。<i>Castle Rackrent</i>にはビッグ・ハウスの当主の浮き沈みが描かれています。英語がやや古いですが、読解にはそれほど苦労しないと思います。
参考図書	Seamus Deane <i>A Short History of Irish Literature</i> U of Notre Dame P ISBN: 0-268-01751-4 1778 円(税込)
履修上のポイント	アイルランド文学の理解を深めるためにアイルランドの歴史と地名をあらかじめよく学修しておいてほしい。同時にイギリス文学史の復習もしておいてほしい。<i>Castle Rackrent</i>を読む際、辞書をしっかり引き、精読をしてください。英文でわからないところがあれば遠慮なく質問してください。
レポート課題 1	『アイルランド文学小史』の第一章から第四章を読み、第三章と第四章を要約せよ。本文のみ 3500 字から 4000 字。 留意点： 「ケルト復興」、「19 世紀の小説」のそれぞれの特徴に留意する。
レポート課題 2	<i>Castle Rackrent</i> を読み、内容の要約をし、この作品に対してどのような問い(作品に対する切り口やアプローチ)を呈することができるのか述べて。本文のみ 3500 字から 4000 字。 留意点： 問いは複数挙げてよい。例えば Thady の語りの特徴、ビッグ・ハウスの当主についてなど。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： シェイマス・ディーン 教材名： (1)『アイルランド文学小史』（国文社、2011 年） ISBN:978-4-7720-0532-6 4000 円 筆者名： (2) John Banville 教材名： <i>The Sea</i> ISBN: 978-0-330-48329-2 1676 円(税込) 『アイルランド文学小史』はアイルランド文学をコンパクトにまとめたものです。原名で人名、作品名、用語などを知る必要があるので原書を逐一参照することが望ましい。2000 年代以降のアイルランドの文学をフォローしていないが、基本をしっかり学ぶことができる。 <i>The Sea</i> (2005)は内容もそうですが、英語文体に特徴がある。そこを味読したい。
参考図書	Seamus Deane <i>A Short History of Irish Literature</i> U of Notre Dame P ISBN: 0-268-01751-4 1778 円(税込)
履修上のポイント	アイルランド文学の理解を深めるためにアイルランドの歴史と地名をあらかじめよく学修しておいてほしい。同時にイギリス文学史の復習もしておいてほしい。<i>The Sea</i>を読む際、辞書をしっかり引き、精読をしてください。英文でわからないところがあれば遠慮なく質問してください。
レポート課題 1	『アイルランド文学小史』の第五章から第八章を読み、第六章と第七章を要約せよ。本文のみ 3500 字から 4000 字。 留意点： 詩、劇、小説におけるアイリッシュ・モダニズムの特徴を把握してほしい。
レポート課題 2	<i>The Sea</i> を読み、内容の要約をし、この作品に対してどのような問い(作品に対する切り口やアプローチ)を呈することができるのか述べて。本文のみ 3500 字から 4000 字。 留意点： 回想的要素、サスペンス的要素など。そして文体の特徴について留意してほしい。

基本教材 1

第 1 回	教材の学修(『アイルランド文学小史』第一章と第二章)
第 2 回	教材の学修(『アイルランド文学小史』第三章と第四章)
第 3 回	レポート課題 1: 初稿作成
第 4 回	レポート課題 1: 添削指導及び修正稿の作成
第 5 回	レポート課題 1: 最終稿の作成
第 6 回	教材の学修: <i>Castle Rackrent</i> の精読(英和辞書をよく引いて精読すること)
第 7 回	教材の学修: <i>Castle Rackrent</i> の精読の際、英文の構文などわからないことをまとめておく
第 8 回	教材の学修: <i>Castle Rackrent</i> の精読の際アイルランドの歴史的背景などわからないことをまとめておく
第 9 回	教材の学修: <i>Castle Rackrent</i> が総合的に読めているかどうか確認する
第 10 回	教材の学修: <i>Castle Rackrent</i> についてわからないところなどを質問し、担当教員が答える
第 11 回	レポート課題 2 の作成にあたり、構想を考える
第 12 回	レポート課題 2: 初稿作成
第 13 回	レポート課題 2: 添削指導及び修正稿の作成
第 14 回	レポート課題 2: 最終稿の作成
第 15 回	レポート課題 1・2 を通じた学修の振り返り。特に <i>Castle Rackrent</i> の理解ができているかどうか確認

基本教材 2

第 1 回	教材の学修(『アイルランド文学小史』第五章と第六章)
第 2 回	教材の学修(『アイルランド文学小史』第七章と第八章)
第 3 回	レポート課題 1: 初稿作成
第 4 回	レポート課題 1: 添削指導及び修正稿の作成
第 5 回	レポート課題 1: 最終稿の作成
第 6 回	教材の学修: <i>The Sea</i> の精読(英和辞書をよく引いて精読すること)
第 7 回	教材の学修: <i>The Sea</i> の精読の際、英文の構文などわからないことをまとめておく
第 8 回	教材の学修: <i>The Sea</i> の精読の際、歴史的背景、地理的特徴などわからないことをまとめておく
第 9 回	教材の学修: <i>The Sea</i> が総合的に読めているかどうか確認する
第 10 回	教材の学修: <i>The Sea</i> についてわからないところなどを質問し、担当教員が回答する
第 11 回	レポート課題 2 の作成にあたり、構想を考える
第 12 回	レポート課題 2: 初稿作成
第 13 回	レポート課題 2: 添削指導及び修正稿の作成
第 14 回	レポート課題 2: 最終稿の作成
第 15 回	レポート課題 1・2 を通じた学修の振り返り。特に <i>The Sea</i> の理解ができているかどうか確認する